

双葉郡 8 町村各校の取組と子どもたちの今を伝える広報誌

ふたばの教育

Vol. 10
2020 春号



特集 8 町村で共に取り組む ふるさと創造学

特集 双葉郡8町村で 共に取り組む ふるさと創造学

「震災で子どもたちが得た経験を、生きる力に」との思いからはじまった、自分の未来を自分で切り拓いていく力を育む探究的な学び、それが「ふるさと創造学」です。地域のひと・もの・ことを題材に、課題やテーマを設定し、情報を集め、整理・分析して考え、まとめて表現するプロセスを通して、自らの考えを深めていきます。一人ひとりが持っている力を発揮しながら学ぶことで成長し、よりよい課題の解決や、難しい課題に挑戦できるようになることを目指します。課題やテーマは、町村や学校の特色やねらい、子どもたちの実態に応じて各校で設定しています。



FUTABA
SCHOOL MAP
(2020年2月現在)

双葉郡8町村の学校は、それぞれの町村または避難先の地域で、日々の学びや行事に活発に取り組みながら、町村や世代の垣根を越えてつながって、子どもたちの学びの場を広げています。



- ①会津若松市……熊町・大野小、大熊中
- ②二本松市……浪江・津島小
- ③葛尾村……葛尾小、葛尾中
- ④浪江町……なみえ創成小、なみえ創成中
- ⑤富岡町……富岡第一・第二小、富岡第一・第二中
- ⑥三春町……富岡第一・第二小（三春校）
富岡第一・第二中（三春校）
- ⑦川内村……川内小、川内中
- ⑧楡葉町……楡葉南・楡葉北小、楡葉中
- ⑨広野町……広野小、広野中
ふたば未来学園中、ふたば未来学園高
- ⑩いわき市……双葉南・双葉北小、双葉中
富岡支援学校（本校舎・四倉校舎）

※ふたば未来学園高校（三島長陵校舎）は、静岡県三島市で開校中

REPORT 2019.12.14

第6回 双葉郡 ふるさと 創造学 サミット

～伝えあい、つながって、広がる
ふるさとふたばの学び～

「ふるさと創造学サミット」は、各町村のブースに分かれ、各校の「ふるさと創造学」の取組をポスターセッション形式で共有する、子どもが主体の学びあいの場です。発表スタイルは各校の自由。参加者の意見や考え方に触れることで自らの学びを更に深めていくことをねらいとしています。今年度は郡山市のビッグパレットふくしまを会場に、地域、保護者の方を含め約700名が参加しました。

ふたば生徒会連合の
司会でオープニング
セレモニーがスタート。

各校が工夫を凝らした
セッションが次々に行われます。



学校や学年の枠を越えた交流が生まれました。

お昼の交流企画では小学生たちが応援手旗をデザイン。



参加者の声

富岡町



放射線や除染について調べ、自分でまとめた冊子も紹介しました。



浪江町



作物作りに挑戦しながら、復興のために何ができるだろうと考えたことを発表しました。



葛尾村



小学生から高校生までたくさんの人と話すことができ、双葉郡の一体感を感じました。



双葉町



カルタの実演をするなど工夫したことで、他校生が興味津々で見にきてくれました。



大熊町



毎の水耕栽培について調べ、毎をイメージした衣装を着て、発表しました。



川内村



川内村のことをもっと知りたいと思ってもらいたくて、心を込めて発表しました。



楡葉町



Nalysが商品開発したお菓子の試食は「すごくおいしい」と好評でした！



広野町



緊張したけれど、大きな声で発表できよう頑張りました。



少し難しい発表内容でしたが、小中学生が一生懸命聞いてくれてうれしかったです。



次のページから各校の今年度のふるさと創造学の取組をご紹介します！

浪江町立浪江・津島小学校

<http://www.namie-es.jp/>
二本松市下川崎字三島台1

伝えたい！ つながりたい！

浪江町の伝統文化体験や
地域の方々との交流を通して、
ふるさとを誇りに思う
心の育成に取り組んでいます。

焼き上がりが
楽しみだなあ（5年）



▲運動会では会場の皆さん
とダンベル体操で交流を深
めました

▶二本松市
の方々とはグ
ラウンドゴ
ルフで交流
しました



ホールインワンを
ねらうぞ！（6年）



▲浪江町の介護福祉施設を訪問し、お年寄
りの方々と交流しました



▲二本松市での8年間の歩みを年表にまと
めました



▲なみえ町十日市祭で、浪江町の方々に思
いをインタビューしました

浪江町立なみえ創成小・中学校

namiesousei-e@fcs.ed.jp
namiesousei-j@fcs.ed.jp
双葉郡浪江町大字幾世橋字来福寺西73



浪江町の新たな 一歩～農業の復興～

開校2年目は「浪江町の新たな一歩
～農業の復興～」をテーマに、
グループに分かれて活動に
取り組んできました。

①体験から学ぶ



▲町で活
躍する
人とも
に花
つ
くり
体験



▲エゴマを地域
の人たちと一
緒に育てまし
た

②人々の思いを聞き、 語り合いながら学ぶ



▲浪江のエゴマを使った商品についての話し合い

③双方向の学び・ 情報発信

▶清泉女子大学の文化祭で
大学生と活動しました



浪江町の
復興の様子を
伝えたいな

葛尾村立葛尾中学校

<https://www.katsurao.org/site/jhs/>
双葉郡葛尾村大字落合字西ノ内50

人と人との絆を大切 にする葛尾中生！

絆や交流をテーマに
全校生8名が「ふるさと創造学」に
取り組んでいます。



たくさんの声援で
最後まで走り抜くことが
できた持久走大会



ふるさとと共に

子牛にミルクをあげるコツ
が分かったよ！



◀村民と一緒に
盛り上げた
運動会

▶地域のパッチ
ワーク教室に参
加しました

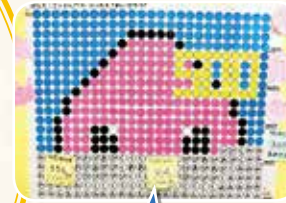


「郷育」「共育」「協育」を大切に

いろんな友達の意見を
聞けて、楽しいな



▲他校の児童と
共に様々な活動
にチャレンジし
ています



2学期までに7人で
350冊以上を
読み切ったよ！



▲学年や校種を越えて、協力しながら
生活しています

他校と共に

友達と共に

◀スクールフェスタ（文化祭）
では絆をテーマにした劇を8
人で披露しました



▲郡山女子大学短期大
学部の先生、学生、村
民の方々とスイーツ作
りをしました

村民の方々と
お茶会♪



修学旅行では震災や
原爆被害から復興した
神戸と広島を訪れました



▲葛尾村民運動会では親子二人三脚で家族
の絆を深めました

双葉町立双葉南・北小学校

<http://futabanankokusyo2014.blog.fc2.com>
いわき市錦町御宝殿 56

豊かな体験を通して未来へジャンプ!

今年度の重点目標は「スイッチオンで、未来へジャンプ」全校生 33 名が夢や希望に向かってがんばっています。

これからも双葉町の魅力を発信していきます



▲ふるさと創造学サミットでは、「双葉の宝物」をたくさん発表しました



◀梅檀祭では、中学生と一緒に「標葉梅檀太鼓」の演奏をしました

▼ペットボトルのキャップを使って、町のキャラクター「フタバくん」を作りました



◀双葉町出身のフラガール猪狩さんから、振り付けを教えてくださいました



▲ふるさとバーチャル遠足で、双葉町の復興・復旧の様子を知ることができました



▲総合的な学習では、双葉町の歴史や文化について調べています

双葉町立双葉中学校

<http://futabajh.blog.fc2.com/>
いわき市錦町御宝殿 56

ふるさと復興のために自分ができること！キーワードはSDGs!

『進んで学び、たくましく生きる』をモットーに、生徒 12 名が自ら立てた目標を達成するため学校生活を送っています。



▲特別養護老人ホームせんだんを訪問しました



▲ふるさと創造学サミット。「原田先生の知らない世界」ばらの専門家・渡部勇くん



▲双葉町復興推進課長の大浦さんからお話をいただきました



▲双葉ばら園長の岡田さんの授業です



▼医療創生大石川先生の放射線についての授業です



▲ふるさと創造学サミット。「原田先生の知らない世界」介護の専門家・脇坂玲名さん。どの発表も、たくさんの方に聞いていただきました



大熊町立熊町・大野小学校

<http://kumamachisyo.blog.fc2.com/>
会津若松市河東町大田原字村中 186

なつかしい方言、聞ぎにこねがい?

テーマを「ふるさとの復興・再生・創生」とし、自ら課題を見つけ、情報を収集・整理し、分析・考察を行っています。



▲水耕栽培について、僕もレタスで実験中!



なかよし8人で大熊町の伝統と未来を伝えます!



◀町に帰りたいと思う人が増えるような絵はがきを作成



▲わかりやすく、大熊の民話を読んであげるね



▲町と生き物のかかわりについてまとめて、全国コンクールへ出品



▲「おおくまふるさと塾」。庄子さんから方言のコツを伝授してもらいました!

大熊町立大熊中学校

<http://okuma2012.seesaa.net/>
会津若松市一箕町大字八幡字門田 9-2

大熊中から発信! 輝く未来

「一人一研究」で各自が課題を設定し、ふるさとの復興、再生・創生のために考え、検証を重ねています。



▲大川原地区にできた新庁舎について事前学習

副町長様と直接お話ができて、感激!



▲新庁舎前で、復興への思いを新たにしました



▲新庁舎見学会で、副町長様と対談!



▲復興を支える人々の力を感じた給食センター見学



▲ふくろうカフェの取材など、実地調査も行いました

▶「記憶の風化を防ぐ絵本」や「人が集まる施設」を発表!



富岡町立富岡第一・第二小学校 富岡校

<http://schit.net/tomioka/tomioka12es/>
双葉郡富岡町大字小浜字中央 237-2

子どもも大人も みんなでがんばる

昨年度から再開されて、
今年は 17 人。町のために
がんばる人たちから生き方・
考え方を学んでいます。

先輩たちのように火を
背負って走ってみたい

▶勇壮な「火祭り」に参加
した先輩にインタビュー



▲「富岡かるた」で仲良しになりました



▲再建したお寺の和尚さんに復興への思いを
聞きました



▲お世話になっている方々へ感謝！
お茶会を開きました



▲サミットは 1 年生から 6 年生まで、全員で
がんばりました



▲町のみなさんと一緒につくりあげた「福祉まつり」

富岡町立富岡第一・第二小学校 三春校

<http://schit.net/tomioka/tomioka12es/>
田村郡三春町大字熊耳字南原 94

富岡町の応援団に なるために！

富岡町の応援団になるため、
3 年生は福祉、4 年生は防災、
5 年生は三春校の歴史をテーマに
探求的な学習を進めてきました。

▶おだがいさま
センターに笑顔
を届けました！
(3 年)



避難するのも
大変そうだなあ



▲お年寄りの気持ちを体験！



▲三春校の歴史を伝えていくために。
とみっぴーラジオ収録！(5 年)



▲おばあちゃんたちと花飾りを
作ったよ(2 年)



◀災害食を実際に食べてみました！
お味は？(4 年)



▲三春校開校当時を知るみなさんへインタビュー

富岡町立富岡第一・第二中学校 富岡校

<http://schit.net/tomioka/tomioka12jhs/>
双葉郡富岡町大字小浜字中央 237-2

富岡ですから！を合い言葉に

再開 2 年目の富岡校は、全校生 11 名。三春校・
横浜・広島と、さまざまな交流を経験しています。



▲放射線教育では、放射線についての知識を身につけました



▲横浜市立富岡中との交流会は、
今年で 2 年目

町の様子を説明し、
復興の現状を伝え
ました(1 年)

実際に学校周辺の
線量を計測しました
(2 年)



▲一つのテーマを二人一組でまとめました



▲広島県では平和について学びました



▲放射線の正しい計測の仕方を学びました



▶放射線教育での学びは、
一人一人の知識を深めました

富岡町立富岡第一・第二中学校 三春校

<http://schit.net/tomioka/tomioka12jhs/>
田村郡三春町大字熊耳字南原 94

富岡の今を伝え未来を創造する

富岡第一・第二中学校三春校は三春町にあります。
「ふるさとから学ぶ」をテーマに学びを深めています。

▶ソフトバンク
本社を訪問しプ
レゼンテーショ
ンを学びました



いろいろな工夫や
コツがあることが
分かりました

意見発表の
仕方が
学べました



▲博報堂を訪問し、議論の深め方と意見の引
き出し方を学びました



◀1 年生はユニバーサルデザ
インについて学びました

ユニバーサルデザ
インって難しいです

震災後の様子が
いろいろ分かりました



▲3 年生は富岡町の現状を伝
えるための調査を行いました

劇形式の発表で、
楽しかったです



▲幼小中合同学習発表会で学習の成果を発表
しました



▲ふるさと創造学サミットで双葉郡内の小中
生に学習の成果を発表しました

川内村立川内小学校
<http://schit.net/kawauchi/kawauchi-es/>
 双葉郡川内村大字上川内字沼畑 125

未来へ羽ばたく 子ども達に

児童数 39 名。子ども達は、自分で気づき学び続けてレベルアップを目標に、様々な取組を行っています。



▲今年も「川内の郷かえるマラソン」のボランティアをしました！



ゴールした選手に
手作りメダルを
プレゼント！



◀▲6年生の長崎訪問。原爆資料館や雲仙岳災害記念館などを見学しました



▲4・5年生の北海道士別市との交流。普段できないことを経験できました



▶川内村の復興について、堂々と発表しました



▶村民が一体となって行った運動会。今年も盛り上がりました！



川内村立川内中学校
<http://schit.net/kawauchi/kawauchi-jhs/>
 双葉郡川内村大字下川内字宮渡 29

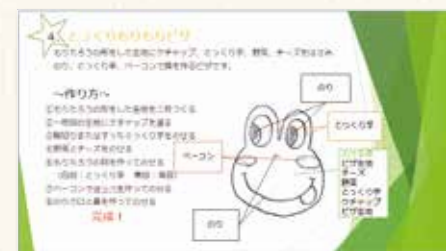
特産物で オリジナル商品を！

川内村の発展のために、地元の企業と連携して、特産物のとっくり芋を使った商品開発に取り組んでいます。



◀学校の畑のとっくり芋、たくさん採れたぞ～！

▼フードチームは商品のデザイン・レシビを考えます



◀マーチャンダイズが企業と打ち合わせした内容を各班に報告します

グループ同士の協力で、最高の発表をつくれたと思います



▲プレsteamはチラシやHPを作成します



▶今年度作っていた商品。来年は実際に販売へ！



檜葉町立檜葉南・北小学校
<https://sites.google.com/fcs.ed.jp/narahaminamikita-e>
 双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂 2-1

檜葉で学び 檜葉を学ぶ

「檜葉と自分の未来を考える」ため、各学年でテーマを設定し、自ら考え、町の人々に関わりながら学習を進めています。



▲JAEA 檜葉センターで触れた最新技術



▲ゆずを学んで、パンフレットづくり



▲「檜葉藍染め会」と、育てた藍の摘み取り

大きい？小さい？
どうしよう

▶種から育てた大豆で、町のお豆腐屋さんで豆腐作り



▲木戸川漁協で鮭調べ

この葉できれいに
染まるといいなあ



▲学校で栽培した藍を摘み取り、もんで、乾燥

檜葉町立檜葉中学校
<https://blog.goo.ne.jp/narahachu>
 双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂 2-1

檜葉の元気と笑顔を たくさんの人へ

檜葉の良さを全国に発信するために、模擬会社「Nalys」で発案・企画した商品を販売し、みなさんに笑顔になってもらえるよう頑張っています。



▲Nalys の商品「ゆ-tiful (ハンソープ)」です

檜葉町のお土産として道の駅でも販売されています



▲檜葉町の産業文化祭「なら SUN フェス」でも販売しました

▼日本橋ふくしま館 MIDETTE での販売を終え、ほっとひと安心。商品を完売し、みんな笑顔です



▶本年度も慶應大学大学院メディアデザイン研究科の大江貴志先生にキャリア教育での模擬会社運営と檜葉町をPRする商品開発・販売についてご指導いただいています



▲Nalys 広報部が作成した広告です。たくさんのお客様に来ていただけるように一生懸命作りました

当日は、Nalys のうちわも配りました



▲文化祭での販売活動。日本橋ふくしま館 MIDETTE 以上の大盛況でした



▲ふるさと創造学サミットでは、模擬販売をしました

広野町立広野小学校

<http://hironosyou.blog81.fc2.com/>
双葉郡広野町中央台三丁目1

夢に向かって レッツ チャレンジ!

全校児童 160 名は、地域とつながりながら学びを深めています。創造学では4年生が、広野町のために何ができるかを考え、発表しました。

わっしょい!笑顔いっぱいのおまつりになったね!(2年)



▶商店街の方との交流を通して、改めて広野町のよさを感じました



▲震災をテーマにした学習発表会の劇では、大きな達成感を味わいました



▲1年生の学校探検。たくさんインタビューできました!



みんなの心に届く最高の学習発表会になりました(6年)



▲バナナ農園の見学では、町のために働く人の思いを知ることができました



▲こども園訪問では、小さい子との関わり方について考え、一緒に楽しみました

広野町立広野中学校

<http://hironochuweb.blog.fc2.com/>
双葉郡広野町大字下浅見川字築地12

ふるさとの魅力と 私たち

ふるさとの魅力を探し、伝える、創る探究的な学習を行い、発信する活動を通して、自己の生き方を考えます。

他の町にはどんな魅力があるのかな…?



▲双葉郡8町村に目を向けて、ふるさとの魅力を探します(1年)



▲富岡町役場に直接取材



町のスポーツクラブに大運動会を提言!

◀「写ルンです」の現象写真をみんなで厳選中

▼ふるさとの魅力を写真とキャッチコピーで伝えます(2年)



◀【映像制作】みんなで考え取り組んだ映像作品で、ふるさとの魅力を創ります(3年)

▼【映像制作】町の医療・福祉について町民の方に突撃インタビュー



福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校

<https://futabamiraigakuen-h.fcs.ed.jp/>
双葉郡広野町中央台一丁目6-3

世界に飛び出す学び

県内で2校目の県立中学校となる県立ふたば未来学園中学校が開校しました。「変革者たれ」の校訓のもと、中学1年生～高校3年生までの中高一貫教育が始まりました。

みんないろいろな所から来ているんだなあ



▲中学校の未来創造学「双葉ふしぎ発見!」県内や全国各地の良いところを紹介しあっています



▲川内村のフィールドワーク。炭焼きについて聞いています

▶9月21日に行われた未来創造探究発表会。6つの探究ゼミから合計42発表がありました(高校3年)



いよいよMy探究がスタート!

双葉郡から世界へ!



▲中高合同の文化祭で発表会を実施。自分の言葉で説明しています

とても緊張したけど、上手に発表することができました(中学1年)

▼高校2年生による未来創造探究プレゼン発表会の様子



▲世界の課題を自分事に考える。ニューヨークの国連本部を訪問し、気候変動について英語でディスカッションをしました

福島県立富岡支援学校

https://tomioka-sh.fcs.ed.jp
(本校舎：小学部)
いわき市平馬目字馬目崎61
(聴覚支援学校平校敷地内)
(四倉校：中学部、高等部)
いわき市四倉町字五丁目4
(四倉高等学校内)

「地域と共にあゆむ」 学校がここにあります

全校児童生徒は62名になりました。今、ここにいるからできることを大切にしながら体験的な学習に取り組んでいます。



▲居住地校交流で自宅がある町の学校で一緒に授業を受けました。継続的に実施しています



久之浜大久自安我楽継承会と富岡支援学校の熱き踊りをご覧ください



◀▲中学部では、避難先であるいわき市の伝統芸能じゃんがら念仏踊りに取り組みました。じゃんがらを版画でも表現しました



▲四倉高校の生徒と協力してパウンドケーキ作りに取り組みました



◀▲高等部は中小企業同友会いわき支部主催のふれあい祭りに参加しました。作業製品の販売だけでなく、作業体験も行い参加された方に作り方を教えました

双葉郡小学校 絆づくり交流会

町村の垣根を越えた仲間づくりを目的に、小学生220人が郡山市のビッグパレットふくしまに大集合！
5回目を迎えた今回もたくさんの交流と笑顔が生まれました。



① アイスブレイクからスタート!



初対面とは思えないバツグンのチームワーク

2人で協力してコーンを回るよ



班対抗で「フラフープおくり」や「ジャンボバトンリレー」をして大盛り上がり!



お姉さんがずっと笑顔で優しかった

③ お待ちかねの昼食タイム!

ボランティアのお姉さんと友達と仲良く昼食♪



④ いっぱい食べて、いっぱい遊ぼう!

班を変更して、お楽しみ屋台巡りやさまざまなレクリエーションで遊びました。

他校のお友達ができたと!



スイカ割りって楽しい!



完食!!

双葉郡 中高生交流会

FUTABA 1 DAY SUMMER SCHOOL

町村や世代を超えた交流を通じて学ぶ、1日限りのサマースクールを今年も開催!今回は、広野町のふたば未来学園中学校・高等学校を会場に、260人の中高生が5つのクラスに分かれ、特別講師の皆さんとワークショップに取り組みました。



A組 小室哲哉と音を創ろう

音楽家 小室 哲哉さん



作詞の仕方やスマホ・パソコンでの作曲の手法を学び、曲が出来上がるまでを体験しました。

B組 笑いのチカラ

テレビ東京 テレビプロデューサー 佐久間 宣行さん



テーマに沿った体験談を発表し合いながら、エピソードを面白く伝えるコツを学びました。

C組 ラブレターを書こう!

作家 林 真理子さん



ラブレターを書く上で重要なポイントや、自分の思いを言葉にする大切さを学びました。

D組 みんなのDANCEを始めよう!

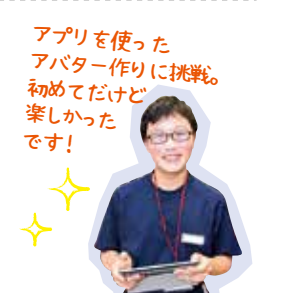
櫻坂46 平手 友梨奈さん プロダンサー TAKAHIROさん



櫻坂46の代表曲「サイレントマジョリティー」のダンスを約100人で完成させました。

E組 VTuberで“変身”しよう!

SHOWROOM株式会社 代表取締役社長 前田 裕二さん



自分の分身となるキャラクター(アバター)を作り、動画を投稿するまでの流れを学びました。

ふたば生徒会連合

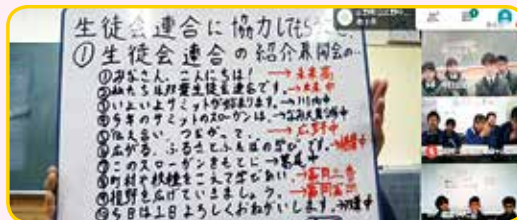
新たな仲間も加わってパワー UP!

双葉郡内の中高の生徒会で構成される「ふたば生徒会連合」の活動は、3年目を迎えました。今年度からは新たにふたば未来学園中学校も加わり、より多くの仲間たちといっしょに活動しています。遠く離れている学校もありメンバーが集まる機会は限られますが、ビデオ会議での交流や意見交換といった、ICTを活用した活動を進めてきました。今年度も中高生交流会とふるさと創造学サミットにおいて、開閉会式や生徒主体による交流企画の運営を行い、ふたば生徒会連合メンバーたちの活躍によってそれぞれのイベントも大いに盛り上がりました。



対面会議にて。メンバーが集まる数少ない機会に、中高生交流会本番に向けたリハーサルを行いました。

中高生交流会オープニングセレモニー。堂々とした進行が印象的でした。



ビデオ会議による打ちあわせ。本番に向けて真剣な話しあいが行われました。

双葉郡地域学校協働本部

双葉郡地域学校協働本部は、双葉郡8町村の地域コーディネーターが連携して地域や企業団体との協働を進めるために立ち上げた、双葉郡の学校の“応援団”です。学校のニーズに合った外部講師の招へい等、町村を越えて情報を共有しながら、子どもたちの学びの場を広げています。

双葉郡全体の取組や本誌に関するお問い合わせ

福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会 事務局
(公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構)

〒960-8043

福島県福島市中町1番19号 中町ビル6階

TEL: 024-581-6897 FAX: 024-581-6898

H P: <http://futaba-educ.net/>

各町村の学校・教育に関するお問い合わせ

浪江町教育委員会	☎ 0240-34-5710
葛尾村教育委員会	☎ 0240-29-2170
双葉町教育委員会	☎ 0246-84-5210
大熊町教育委員会	☎ 0242-26-3844
富岡町教育委員会	☎ 0240-22-2626
川内村教育委員会	☎ 0240-38-3805
楡葉町教育委員会	☎ 0240-23-5515
広野町教育委員会	☎ 0240-27-4166

「ふたばの教育」は、双葉郡の子どもたちの笑顔、各校の特色ある取組、8町村で連携した活動を伝える広報誌です。8町村教育委員会を中心に構成する「福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会」が発行しています。

ふたばの教育 vol.10(2020春号) 2020年2月26日発行

発行: 福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会

編集: ICT活用・広報委員会(委員長: 半杭千歩(浪江町立みなみえ創成中学校長))

執筆・写真(P.4-13): 双葉郡内各校